

令和6年5月14日  
記者発表



## 高等教育共創コンソーシアム和歌山×県振興局による 「地域魅力創出プロジェクト」キックオフ会議を開催します

大阪・関西万博を契機に、高等教育共創コンソーシアム和歌山※1に所属する学生と県の振興局が連携し、振興局エリアにおける地域の魅力創出や地域課題解決に向けて取り組みます。つきましては、下記のとおりキックオフ会議を開催します。

(キックオフ会議)

日時：令和6年5月19日(日) 16:00～

場所：和歌山大学 松下会館2階 大ホール

出席者：和歌山県

高等教育共創コンソーシアム和歌山

知事 岸本 周平

会長 本山 貢 氏

本取組に参加する学生

### 1 実施目的

本取組は、県内で学ぶ学生が主体的に持続可能な地域の実現について考える契機になるとともに、取組を通して、地域と学生の連携が強まることにより、万博後も地域の魅力を創出する取組が継続されることを目的とする。

### 2 取組内容

7つの振興局エリアで7つの共創チャレンジ※2を創出し、大阪・関西万博会場(Team EXPO パビリオン)にて発表することを目指します。



(提供：公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会)

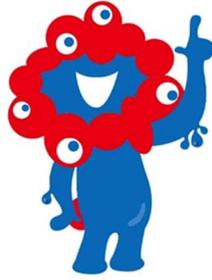


(引用：公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 hp)

※1 2000年7月、和歌山県内の大学等高等教育機関が、連携・協力することによってその知的資源を結集し、地域社会のより一層の発展に貢献することや加盟機関のさらなる魅力の発揮を目指して設立。  
参考：高等教育共創コンソーシアム和歌山 HP <http://www.consortium-wakayama.jp/>

※2 多様な人たちがチームを組み、みんながつくる参加型プログラムの1つ。社会課題解決やSDGsの達成に向けた未来へのアクションについて、審査のうえ、活動発表の機会を提供。  
(例)・産官学が連携し、持続可能な地域づくりを目指す活動  
・企業がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動  
参考：TEAM EXPO 2025 <https://team.expo2025.or.jp/ja>

お問い合わせ先：和歌山県万博推進課 古川・池永 073-441-2703



大阪・関西万博 公式キャラクター  
ミヤクミヤク

## 振興局エリアの活動テーマ

振興局	テーマ	学生の想定活動内容
海草	国道 370 号の利用促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・実際に現地を訪れ、民宿やキャンプ場で宿泊体験をすることにより、どのような課題があるかを確認。課題解決に向け、学生目線でのアドバイスや提案。</li><li>・観光拠点での Vlog や PR 動画を作成し、SNS 等で発信。</li></ul>
那賀	紀の川エリアサイクリングによる誘客・周遊促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・紀の川エリアを実際にサイクリングしながら、関係者（店舗や観光地など）に取材を行った上で、初心者・未経験者を主なターゲットとした、学生目線でのおすすめサイクリングコースや効果的な情報発信方法を提案。</li></ul>
伊都	高野山麓地域の周遊観光促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・フィールドワークや現地の方へのヒアリングを通して、何度も訪問してもらえるための楽しみ方を発信・提案。</li><li>・学生目線での PR 方法の提案。</li></ul>
有田	有田川町清水地域への誘客促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・清水温泉リニューアルオープンにあたり、清水温泉といった観光素材を活かした誘客方法について提案。</li><li>・情報発信について、学生目線での提案。</li></ul>
日高	「和食の源流は日高にあり」を世界に発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・郷土料理について、生活研究グループ等へのヒアリングを行い、食文化を明文化。</li><li>・食文化×SDGs で体験メニューの開発。</li></ul>
西牟婁	熊野古道 大辺路への誘客促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・大辺路の魅力の磨上げと効果的な情報発信を行うことにより、田辺・西牟婁エリアへの誘客促進やリピーターの確保を図る。</li></ul>
東牟婁	移住者受入れ先進地における持続可能な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・移住者の受入れに先進的に取り組む地域（色川地区）等でのフィールドワークや現地の方へのヒアリングを実施。</li><li>・地域運営の課題を抽出し、持続可能な地域づくりを提案。</li></ul>